

# 会 議 録

施設長	管理課長	支援係長	サビ管

会議名	第1回 地域連携推進会議	記録者	宜野座竜二
日 時	令和7年1月27日(金) 14:00～15:30		
場 所	一心療護園 会議室		
出席者	山城 豊施設長 ・ 東恩納隆行サービス管理責任者 ・ 宜野座竜二支援係長 地域代表H様 ・ 福祉に知見T様 ・ 家族代表N様 ・ 利用者代表Y様		
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 開会・挨拶</li> <li>2. 地域連携推進会議とは</li> <li>3. 参加者紹介</li> <li>4. 施設見学</li> <li>5. 事業運営状況の報告</li> <li>6. 安全管理・権利擁護に関する報告</li> <li>7. 地域交流・行事等の活動報告</li> <li>8. 意見交換・質疑応答</li> </ol>		
1. 開会・挨拶			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・東恩納隆行サービス管理責任者(進行役)より本会議は、制度改正に伴い、「障害者支援施設」として、利用者の尊厳保持やサービスの透明性を高めるために設置されたものである旨を説明。</li> <li>・施設長挨拶:地域の方々や有識者の視点からアドバイスをいただき、より良い施設づくり、サービス向上に努めたい。</li> </ul>			
2. 地域連携推進会議とは			
資料1・2に基づき、本会議の4つの目的を説明。			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 利用者と地域との関係づくり</li> <li>2. 地域の人への施設等や利用者に関する理解の促進</li> <li>3. サービスの透明性・質の確保</li> <li>4. 利用者の権利擁護</li> </ol>			
3. 参加者紹介			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Y様(利用者代表)</li> <li>2. H様(地域の関係者)</li> <li>3. T様(福祉に知見のある方)</li> <li>4. K様(利用者家族)</li> </ol>			
4. 施設見学			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・居室: <ul style="list-style-type: none"> <li>○H様(地域):個室は整理整頓されており、臭いもなく清潔に保たれている。</li> <li>○施設側:居室の掃除は職員で行い、個人担当職員にて定期的な管理を行っている。以前の多床室(4人部屋)からパーティションを活用した2人部屋運用と基本的に個室となり、プライバシー確保に努めている。</li> </ul> </li> </ul>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・浴室・トイレ: <ul style="list-style-type: none"> <li>○T様(福祉知見):天井走行リフトの設備確認。老朽化への対応はどうか。</li> <li>○施設側:以前の特設浴槽は撤去し、スペース確保。現在はリフトを活用した入浴支援を行っている。</li> <li>○見学時の確認:トイレ便座位置が高いと高齢利用者には足が着かず踏ん張りにくトイレがあるが</li> </ul> </li> </ul>			

、施設の便座は配慮されている。
5. 事業運営状況の報告
1. 事業内容(基本情報)
・事業所名:障害者支援施設 一心療護園
・事業内容:入所支援事業/生活介護/短期入所
・定員:入所 50名/生活介護50名/短期入所5名
2. 利用者の状況(令和8年1月23日現在)
○区分:
6=27名(52%) / 5=13名(25%) / 4=10名(19%) / 3=2名(4%)
●平均区分=5.1
○平均年齢:
男性=62.7歳 女性=67歳 ●全体=64.3歳
最高年齢 91歳 最年少42歳
○入・退所の状況(本年度):
新規入所利用者=5名
退所利用者 =2名
6. 安全管理・権利擁護に関する報告
・令和7年4月～12月の事故発生件数報告。転倒・転落が主である。ひやりはっと件数報告。移乗・移動時の見守り強化やセンサー活用により、重大事故の未然防止に努めている。
・虐待防止・身体拘束について報告。現在は身体拘束「0件」を継続中。過去には切迫性・非代替性・一時性を満たした上で実施したケースもあったが、現在はセンサーマット等の福祉用具活用や職員の観察強化により拘束廃止を実現している。
7. 地域交流・行事等の活動報告
年間行事や日常生活風景の写真をスライド上映
1. 主な行事・活動報告
・桜見物 ・つつじ祭り見物 ・オクラレルカ見物 ・こいのぼり見物 ・あじさい見物 ・村祭り見物
・法人納涼祭 ・大宜味展出店見学 ・ハロウィン ・ミニ運動会 ・クリスマス忘年会 ・生年祝い
2. 日中活動(生活介護)の様子
・余暇活動 ・個別外出 ・レクリエーション ・リハビリテーション ・趣味活動
3. おおぎみこども園訪問交流会 ・しまむら訪問販売 ・村夏祭り花火見物
8. 意見交換・質疑応答
1. 施設環境とケアの質について
・H様(地域):施設全体が清潔で、昔のイメージ(暗い・臭う)とは全く異なる。職員の挨拶も徹底されており、利用者の表情も穏やかであると感じた。
・K様(家族):以前は布おむつ使用のため、使わなくなった衣類や布類を家族より提供してほしいと呼びかけがあったが、現在はどのようになっていますか?
・施設側:施設自体が新しく、居室の整理整頓などは、個人担当を中心に関わりながら綺麗な居室で過ごしてもらえるように取り組んでいる。おむつに関しては、布から紙おむつに変わり、衣類の提供呼びかけは行っていない。雑巾などのタオルは必要となれば呼びかけ検討したい。
2. 地域交流について
・Y様(利用者):以前やっていた「琴(こと)」をもう一度演奏したい。道具はあるが、教える人がいない。
・H様(地域):地域(塩屋地区)には琴の師範や演奏できる方がいるので、地域連携の一環としてボランティアや講師を依頼してもいいと感じる。

